

## 8. 2 再調査

### 8.2.1 再調査の方法

図 8.2.1 に位置を示す 29 箇所の観測井を対象に第 9 回地下水モニタリングの再調査を実施した。再調査の対象観測井は、暫定値でベンゼン又はシアンが地下水基準の 5 倍を超えていた箇所に加え、ベンゼン、シアンが不検出又は低濃度であった箇所も対象にした。

図 8.2.2 に一般的に行われる地下水モニタリングの試料採取手順を示す。井戸内滞水量の 3～5 倍程度を目安にパージを行って井戸内及び周囲の地下水を入れ替え、採水器（ベアラ）、地上式ポンプ、水中ポンプ等を用いて所定量の地下水を採水し、分析対象とする物質に適した材質の容器に入れて、冷蔵状態で運搬・保管する。

これに対して、再調査では、パージ・採水作業に伴い井戸内の地下水に濁りが発生するのをできる限り抑え、土粒子による濁りの影響を受けず、採水に伴うベンゼンの揮発による損失をできるだけ防いだかたちで地下水を採水することに主眼をおき、低流量ポンプ（ブラダーポンプ）を用いてゆっくりとパージ・採水を行うこととした。

再調査におけるパージ・採水作業は次の手順で実施した。

#### 【パージ】

- ①手測り式の水位計にて観測井内の地下水位と孔底の深さを測定する。
- ②低流量ポンプ（ブラダーポンプ）を用いて、観測井から孔内の滞水量の 3 倍量の水をゆっくりと（0.5L/分）揚水パージする（パージ）。（図 8.2.3 参照）
- ③孔内水位がパージ前の水位又はその近くまで回復するのを待つ。
- ④観測井をそのままの状態でも 1 時間以上静置する（静置後にまだ観測井内の水が懸濁しているときはさらに 1 時間以上静置する）。

#### 【採水作業】

- ①低流量ポンプ（ブラダーポンプ）で帯水層の中間深度より孔内水をゆっくりと（0.5L/分）揚水し、1 つの容器に採水する（図 8.2.3 参照）。
- ②1 つの容器に採水した地下水を 3 つ又は 4 つの試料容器に分取する。
- ③分取した地下水試料を各分析実施機関が自ら運搬し、分析する。

再調査におけるクロスチェック分析は、(株)環境管理センター、(公財)東京都環境公社東京都環境科学研究所（以下「環境科学研究所」）、ユーロフィン日本環境(株)、(株)湘南分析センターの 4 機関で行った（東京都環境科学研究所は代表試料のみ）。環境管理センターは専門家会議による調査の分析実施機関、ユーロフィン日本環境は第 4 回～第 8 回地下水モニタリングの 5 街区及び 6 街区の分析実施機関、湘南分析センターは第 9 回地下水モニタリングの分析実施機関である。

再調査では各観測井について 2 回測定を実施しており、1 回目の測定を終了し、全ての箇所の測定結果を確認した上で 2 回目の採水を開始した。

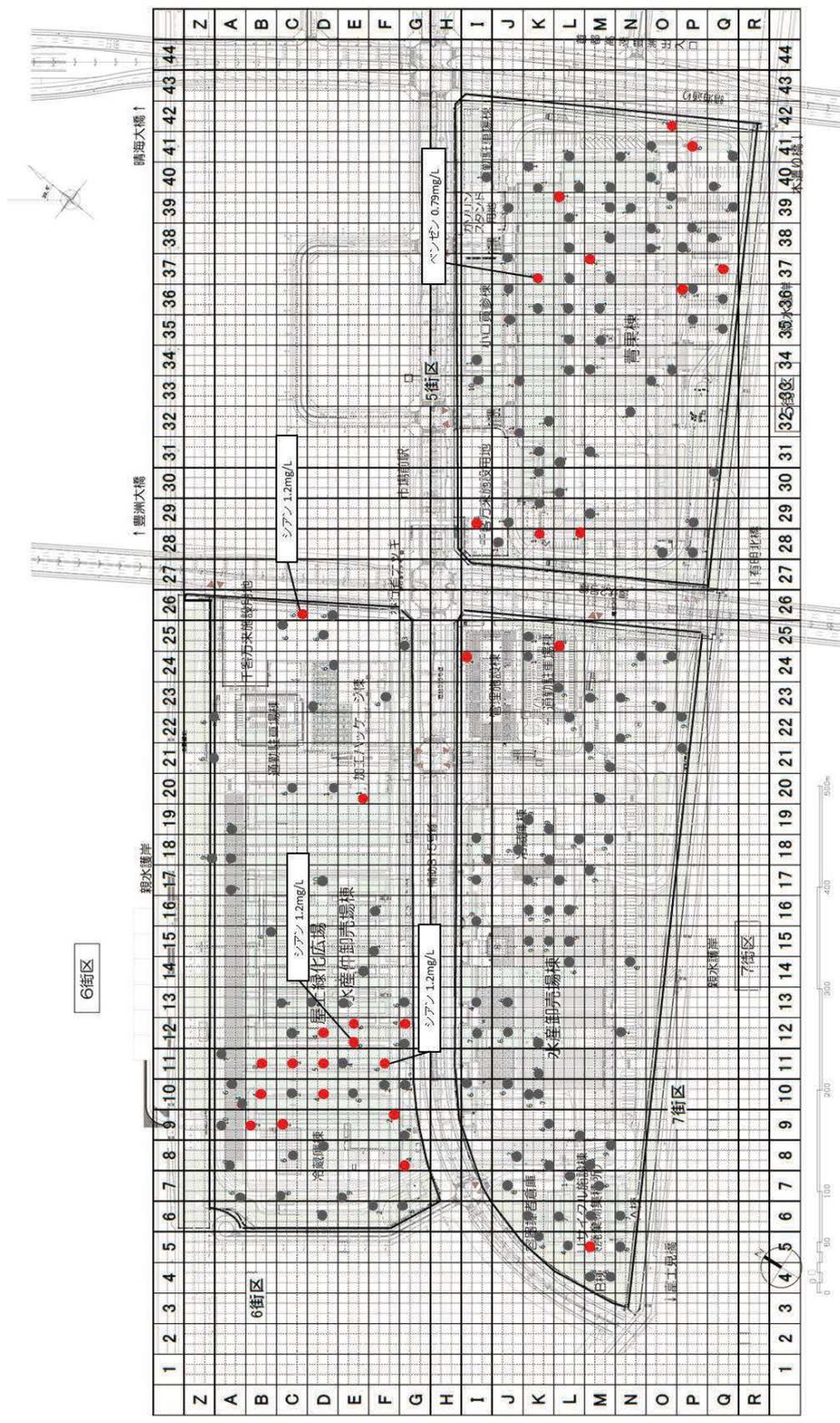


図 8.2.1 第9回地下水モニタリングの再調査の調査地点

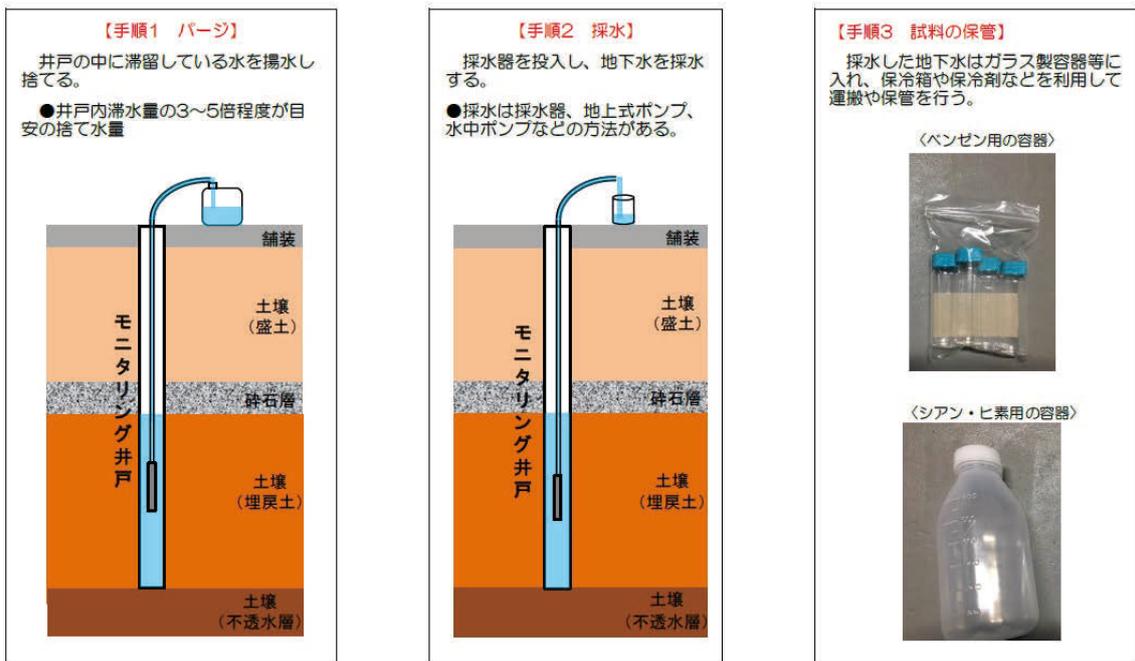


図 8. 2. 2 一般的な地下水モニタリングにおける試料採取手順



(1)パージ作業



(2)採水作業

図 8. 2. 3 再調査におけるパージ・採水作業状況（ブラダーポンプを使用）

## 8.2.2 再調査の結果

### (1) 再調査による測定結果

表 8.2.1(1)～(3)に、再調査における測定結果を示す。5 街区の L28-9、6 街区の G8-1 の 2 箇所では、観測井の中が詰まっていたため採水が不可能であったため、再調査を中止した。また、5 街区の K28-6、O42-7、6 街区の B9-2、C26-7、7 街区の L25-1 の 5 箇所では、井戸管の曲がりのためにブラダーポンプが入らず、1 回目の採水は取り止めた。これら 5 箇所については 1 回目でブラダーポンプによる分析値と暫定値の間に差があまりなかったことから、2 回目をベラーにより採水することに変更した。

再調査で地下水を採水・分析した観測井 27 箇所の内、暫定値に比べて濃度が高かった地点、低かった地点、違いが無かった地点いずれもある割合で存在していることから、暫定値は全体的に濃度が高め又は低めになっているという傾向はないと考えられる。このことから、再調査で行ったブラダーポンプによる採水とこれまでのベラーによる採水で分析値に大きな違いはないと考えられる。

表 8.2.2(1)～(3)に、クロスチェックを行った 4 つの分析機関の分析値についての分析値の変動係数 (CV 値) を示す。変動係数は平均すると 7～15%位であることから、よく一致していると判断される。

現地 (豊洲市場用地) から各分析機関へ運搬し、分析するまでの間のベンゼンのトラベルスタンダードについては、変動係数が 16%であり、試料運搬条件や運搬時間の違いによりこの程度の誤差がベンゼンの分析結果には含まれている可能性があることが把握された。

### (2) 地下水試料の臭気

再調査における採水時に、臭気確認用の地下水試料も採水し、調査員が臭質及び臭気強度を確認した。

表 8.2.3 に地下水の臭気の確認結果を示す。地下水からの臭気は鋳物臭が多く、一部の観測井において油臭やアンモニア性臭が確認された。臭気強度としては、3 (楽に感知できる臭い) が多く、一部が 4 (強い臭い) であった。

暫定値としてベンゼンが 0.79mg/L 検出された観測井 K37-4 において、再調査 1 回目に魚粉とアンモニア性臭の強い臭いが確認されたことから、平成 29 年 2 月 10 日に地下水を採水し、地下水中のアンモニア、硫酸、臭素等のイオンについて測定するとともに、全石油系炭化水素 (TPH) のパターン分析を行った。

表 8.2.4 に K37-4 の地下水のイオン等分析結果を、図 8.2.4(1)～(2)に K37-4 の地下水の TPH パターン分析結果 (クロマトグラム) 及び比較用の代表的な石油製品の TPH パターン分析結果を示す。K37-4 について、アンモニア臭や硫化水素臭が強いことと整合する結果であり、地下水に含まれている油分はガソリンレンジの低沸点成分であった。

表の見方
(9回結果)
環境管理センター
(都)環境科学研究所
ユーロフィン日本環境
湘南分析センター

表 8.2.1(1) 第9回地下水モニタリングの再調査の結果(1)

調査日		街区	調査地点	位置	番号	ベンゼン 地下水基準 0.01mg/L (定量下限値 0.001mg/L)		シアン 地下水基準 不検出 (定量下限値 0.1mg/L)		ヒ素 地下水基準 0.01mg/L (定量下限値 0.001mg/L)	
1回目	2回目					1回目	2回目	1回目	2回目		
1月30日	2月13日	5街区	P41-5	屋外	1			(0.1)			
								0.1	0.1		
								-	-		
								0.1	0.1		
						0.1	0.1				
1月31日	2月15日	5街区	K37-4	マンホール内	2	(0.79)					
						0.99	1.0				
						0.94	0.91				
						0.82	0.99				
						0.80	0.87				
ポンプ 入らず	2月16日	6街区	C26-7	屋外	3			(1.2)			
								-	0.3	← 2回目は ベラー採水	
								-	0.4		
								-	0.4		
		-	0.4								
2月1日	2月15日	7街区	M5-2	屋外	4	(不検出)		(不検出)		(0.002)	
						0.003	0.003	不検出	不検出	0.007	0.007
						0.003	0.003	不検出	不検出	0.007	0.006
						0.003	0.003	不検出	不検出	0.007	0.007
						0.002	0.003	不検出	不検出	0.007	0.007
2月8日	2月23日	7街区	I24-3	屋外	5	(0.011)		(不検出)			
						0.036	0.050	不検出	不検出		
						-	-	-	-		
						0.042	0.056	不検出	不検出		
						0.027	0.044	不検出	不検出		
2月1日	2月15日	6街区	B11-5	地下ピット内	6	(0.012)		(0.6)			
						0.060	0.059	0.7	0.9		
						0.061	0.053	0.9	1.3		
						0.069	0.065	0.8	0.9		
						0.048	0.050	0.9	1.0		
2月1日	2月15日	6街区	D11-5	地下ピット内	7	(0.23)		(1.0)		(0.015)	
						0.27	0.27	0.8	0.9	0.018	0.016
						0.28	0.28	1.0	1.1	0.017	0.015
						0.31	0.30	0.8	0.9	0.015	0.015
						0.24	0.25	1.0	0.9	0.017	0.015
2月2日	2月16日	6街区	F9-9	地下ピット内	8	(0.1)		(0.2)			
						0.22	0.21	0.5	0.5		
						0.21	0.19	0.7	0.7		
						0.22	0.20	0.5	0.7		
						0.17	0.19	0.6	0.6		
2月2日	2月16日	6街区	E12-4	地下ピット内	9			(1.2)			
								0.7	0.8		
								1.1	1.1		
								0.7	0.9		
						0.7	0.8				
2月2日	2月16日	6街区	F11-5	地下ピット内	10			(1.2)			
								1.1	1.0		
								1.4	1.4		
								0.8	1.1		
						1.1	1.1				
ポンプ 入らず	2月15日	5街区	K28-6	屋外	11	(0.096)					
						-	0.050	← 2回目は ベラー採水			
						-	-				
						-	0.050				
-	0.041										

表の見方
(9回結果)
環境管理センター
(都)環境科学研究所
ユーロフィン日本環境
湘南分析センター

表 8.2.1(2) 第9回地下水モニタリングの再調査の結果(2)

調査日		街区	調査地点	位置	番号	ベンゼン 地下水基準 0.01mg/L (定量下限値 0.001mg/L)		シアン 地下水基準 不検出 (定量下限値 0.1mg/L)		ヒ素 地下水基準 0.01mg/L (定量下限値 0.001mg/L)	
1回目	2回目					1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
詰り	詰り	5街区	L28-9	屋外	12	(不検出)					
						-	-				
						-	-				
						-	-				
2月10日	2月23日	5街区	L39-3	地下ビット内	13	(0.063)					
						0.071	0.071				
						-	-				
						0.066	0.071				
2月10日	2月23日	5街区	M37-3	地下ビット内	14	(0.06)		(不検出)			
						0.001	0.001	不検出	不検出		
						-	-	-	-		
						0.001	0.001	不検出	不検出		
2月10日	2月23日	5街区	I29-4	屋外	15	(0.027)					
						0.048	0.064				
						-	-				
						0.044	0.069				
2月8日	2月22日	5街区	Q37-5	屋外	16	(0.044)		(不検出)			
						0.024	0.026	不検出	不検出		
						-	-	-	-		
						0.026	0.027	不検出	不検出		
ポンプ 入らず	2月14日	6街区	B9-2	屋外	17	(0.098)		(0.4)			
						-	0.079	-	0.1		
						-	-	-	-		
						-	0.087	-	0.1		
2月8日	2月25日	6街区	C9-2	屋外	18	(0.12)		(0.8)			
						0.006	0.031	0.1	0.1		
						-	-	-	-		
						0.007	0.031	0.1	0.1		
2月3日	2月14日	6街区	C11-5	地下ビット内	19	(0.074)		(0.6)			
						0.12	0.096	0.5	0.4		
						-	-	-	-		
						0.10	0.10	0.6	0.4		
2月3日	2月17日	6街区	D10-5	地下ビット内	20	(0.025)		(0.7)		(0.012)	
						0.037	0.039	0.6	0.6	0.021	0.020
						-	-	-	-	-	-
						0.038	0.036	0.7	0.7	0.014	0.019
2月3日	2月14日	6街区	D12-5	地下ビット内	21	(0.14)		(0.7)		(0.021)	
						0.21	0.19	0.8	0.6	0.028	0.018
						-	-	-	-	-	-
						0.22	0.19	1.0	0.8	0.019	0.016
2月2日	2月17日	6街区	E12-6	地下ビット内	22			(0.8)			
								0.5	0.7		
								-	-		
								0.4	0.7		
				0.6	0.7						

← 2回目は  
ベラー探水

表の見方
(9回結果)
環境管理センター
(都)環境科学研究所
ユーロフィン日本環境
湘南分析センター

表 8.2.1(3) 第9回地下水モニタリングの再調査の結果(3)

調査日		街区	調査地点	位置	番号	ベンゼン 地下水基準 0.01mg/L (定量下限値 0.001mg/L)		シアン 地下水基準 不検出 (定量下限値 0.1mg/L)		ヒ素 地下水基準 0.01mg/L (定量下限値 0.001mg/L)	
1回目	2回目					1回目	2回目	1回目	2回目		
2月6日	2月17日	6街区	E20-7	地下ピット内	23	(0.082)					
						0.12	0.12				
						-	-				
						0.12	0.12				
						0.093	0.099				
ポンプ 入らず	2月13日	5街区	O42-7	屋外	24	(0.088)	(0.1)				
						-	0.074	-	0.4		
						-	-	-	-		
						-	0.085	-	0.6		
						-	0.060	-	0.5		
2月8日	2月22日	5街区	P36-3	屋外	25	(0.004)	(0.1)				
						0.005	0.005	0.1	0.1		
						-	-	-	-		
						0.005	0.004	0.1	0.1		
						0.004	0.004	0.1	0.1		
2月6日	2月17日	6街区	B10-5	地下ピット内	26	(0.14)	(1.0)	(0.022)			
						0.15	0.17	0.8	0.9	0.036	0.032
						-	-	-	-	-	-
						0.18	0.16	0.9	1.0	0.027	0.030
						0.14	0.14	0.8	1.0	0.030	0.028
2月3日	2月16日	6街区	G12-3	地下ピット内	27	(0.11)	(0.1)	(0.018)			
						0.18	0.18	0.5	0.5	0.031	0.029
						-	-	-	-	-	-
						0.19	0.17	0.5	0.6	0.021	0.023
						0.14	0.15	0.6	0.6	0.025	0.024
詰り	詰り	6街区	G8-1	屋外	28	(不検出)	(不検出)	(不検出)			
						-	-	-	-	-	-
						-	-	-	-	-	-
						-	-	-	-	-	-
ポンプ 入らず	2月22日	7街区	L25-1	駐車場棟1F	29	(0.021)	(0.1)				
						-	0.031	-	0.1		
						-	-	-	-		
						-	0.032	-	0.1		
						-	0.025	-	0.1		
トラベルスタンダード (2/10採水)						(0.010)					
						-	0.010				
						-	-				
						-	0.010				
						-	0.007				

← 2回目は  
ベアラー採水

← 2回目は  
ベアラー採水

表 8.2.2(1) 第9回地下水モニタリングの再調査の結果（分析値の変動係数）(1)

調査日		街区	調査地点	位置	番号	変動係数					
1回目	2回目					1回目	2回目	1回目	2回目		
ベンゼン						シアン		ヒ素			
1月30日	2月13日	5街区	P41-5	屋外	1	-	-	0.000	0.000	-	-
1月31日	2月15日	5街区	K37-4	マンホール内	2	0.090	0.058	-	-	-	-
ポンプ 入らず	2月16日	6街区	C26-7	屋外	3	-	-	-	0.115	-	-
2月1日	2月15日	7街区	M5-2	屋外	4	0.157	0.000	-	-	0.000	0.064
2月8日	2月23日	7街区	I24-3	屋外	5	0.176	0.098	-	-	-	-
2月1日	2月15日	6街区	B11-5	地下ピット内	6	0.126	0.102	0.101	0.160	-	-
2月1日	2月15日	6街区	D11-5	地下ピット内	7	0.091	0.066	0.111	0.091	0.065	0.028
2月2日	2月16日	6街区	F9-9	地下ピット内	8	0.101	0.042	0.144	0.133	-	-
2月2日	2月16日	6街区	E12-4	地下ピット内	9	-	-	0.217	0.136	-	-
2月2日	2月16日	6街区	F11-5	地下ピット内	10	-	-	0.193	0.130	-	-
ポンプ 入らず	2月15日	5街区	K28-6	屋外	11	-	0.090	-	-	-	-

表 8. 2. 2 (2) 第 9 回地下水モニタリングの再調査の結果 (分析値の変動係数) (2)

調査日		街区	調査地点	位置	番号	変動係数					
1回目	2回目					1回目	2回目	1回目	2回目		
ベンゼン						シアン		ヒ素			
詰り	詰り	5街区	L28-9	屋外	12	-	-	-	-	-	-
2月10日	2月23日	5街区	L39-3	地下ビット内	13	0.128	0.099	-	-	-	-
2月10日	2月23日	5街区	M37-3	地下ビット内	14	0.000	0.000	-	-	-	-
2月10日	2月23日	5街区	I29-4	屋外	15	0.140	0.124	-	-	-	-
2月8日	2月22日	5街区	Q37-5	屋外	16	0.150	0.106	-	-	-	-
ポンプ 入らず	2月14日	6街区	B9-2	屋外	17	-	0.077	-	0.000	-	-
2月8日	2月25日	6街区	C9-2	屋外	18	0.136	0.115	0.000	0.354	-	-
2月3日	2月14日	6街区	C11-5	地下ビット内	19	0.125	0.019	0.083	0.000	-	-
2月3日	2月17日	6街区	D10-5	地下ビット内	20	0.102	0.107	0.071	0.071	0.162	0.043
2月3日	2月14日	6街区	D12-5	地下ビット内	21	0.108	0.051	0.091	0.141	0.163	0.048
2月2日	2月17日	6街区	E12-6	地下ビット内	22	-	-	0.163	0.000	-	-

表 8. 2. 2 (3) 第 9 回地下水モニタリングの再調査の結果（分析値の変動係数）(3)

調査日		街区	調査地点	位置	番号	変動係数					
1回目	2回目					1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
ベンゼン						シアン		ヒ素			
2月6日	2月17日	6街区	E20-7	地下ピット内	23	0.115	0.088	-	-	-	-
ポンプ 入らず	2月13日	5街区	O42-7	屋外	24	-	0.140	-	0.163	-	-
2月8日	2月22日	5街区	P36-3	屋外	25	0.101	0.109	0.000	0.000	-	-
2月6日	2月17日	6街区	B10-5	地下ピット内	26	0.108	0.080	0.057	0.049	0.121	0.054
2月3日	2月16日	6街区	G12-3	地下ピット内	27	0.127	0.075	0.088	0.083	0.160	0.104
詰り	詰り	6街区	G8-1	屋外	28	-	-	-	-	-	-
ポンプ 入らず	2月22日	7街区	L25-1	駐車場棟1F	29	-	0.105	-	0.000	-	-
トラベルスタンダード (2/10採水)						-	0.157	-	-	-	-

表 8. 2. 3 再調査における地下水の臭気の確認結果

地点番号	地点名	1回目		2回目	
		臭質	強度	臭質	強度
1	P41-5	鋳物臭	3	鋳物臭	3
2	K37-4	魚粉+アンモニア性臭	4	魚粉+アンモニア性臭	4
3	C26-7	-	-	石灰臭	3
4	M5-2	石灰臭	3	石灰臭	3
5	I24-3	鋳物+油臭	3	鋳物臭	3
6	B11-5	鋳物臭	3	鋳物臭	3
7	D11-5	鋳物臭	3	鋳物臭	3
8	F9-9	鋳物臭	3	鋳物臭	3
9	E12-4	鋳物臭	3	鋳物臭	3
10	F11-5	鋳物+油臭	4	鋳物臭	3
11	K28-6	-	-	硫化物臭	3
12	L28-9	(濁水)	-	(濁水)	-
13	L39-3	魚粉+油臭	4	魚粉+油臭	4
14	M37-3	鋳物臭	3	鋳物臭	3
15	I29-4	鋳物+油臭	3	鋳物+油臭	3
16	Q37-5	アンモニア性臭+鋳物臭	3	アンモニア性臭+鋳物臭	3
17	B9-2	-	-	鋳物臭	3
18	C9-2	鋳物+油臭	3	鋳物+油臭	3
19	C11-5	鋳物臭	3	鋳物臭	3
20	D10-5	鋳物臭	3	鋳物臭	3
21	D12-5	鋳物臭	3	鋳物臭	3
22	E12-6	鋳物臭	3	鋳物臭	3
23	E20-7	油臭	4	鋳物+油臭	3
24	O42-7	-	-	鋳物臭	3
25	P36-3	鋳物臭	3	鋳物臭	3
26	B10-5	鋳物臭	3	鋳物臭	3
27	G12-3	鋳物臭	3	鋳物臭	3
28	G8-1	(濁水)	-	(濁水)	-
29	L25-1	-	-	鋳物臭	3

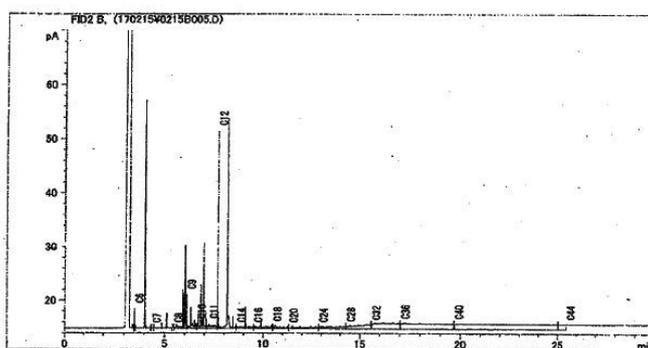
※12,28は濁水のため欠測。

1回目3,11,17,24,29は、井戸が曲がっており、ポンプ挿入不可のため欠測。

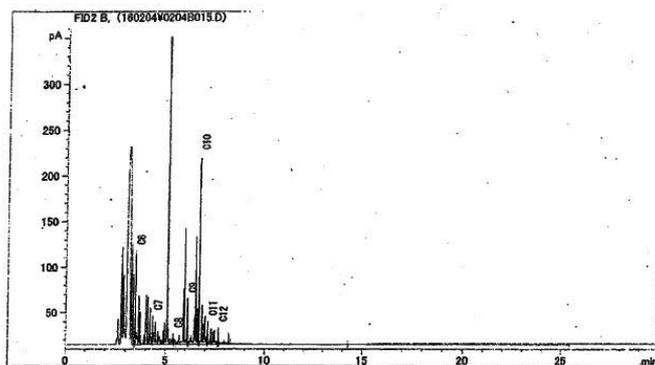
2回目3,11,17,24,29は、ペーラーにて採取。

表 8.2.4 K37-4 の地下水のイオン等分析結果（平成 29 年 2 月 10 日）

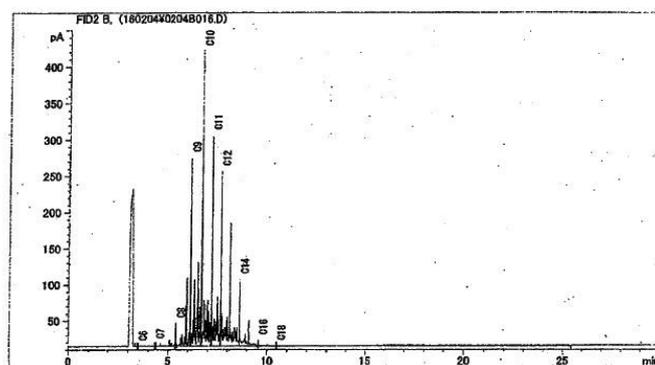
試験項目	試験結果	単位
pH（温度）	11.7 (15.5)	—(°C)
電気伝導率	347	mS/m
酸化還元電位	-10	mV
炭酸水素イオン	9.0	mg/L
塩化物イオン	458	mg/L
硝酸イオン	<0.1	mg/L
カルシウム	79.3	mg/L
マグネシウム	<0.5	mg/L
ナトリウム	648	mg/L
カリウム	82.7	mg/L
硫酸イオン	365	mg/L
アンモニウムイオン	435	mg/L
臭素イオン	2.1	mg/L



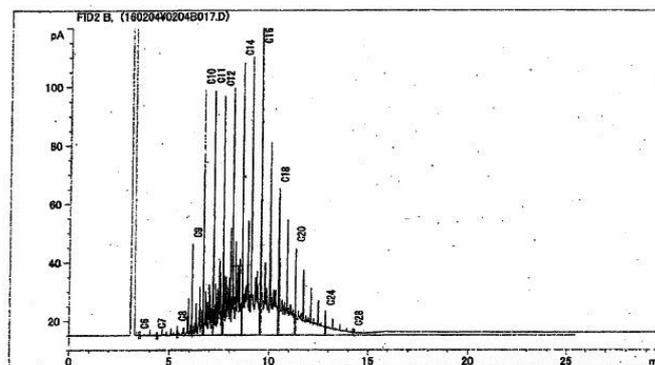
(1)K37-4 地下水試料



(2)ガソリン

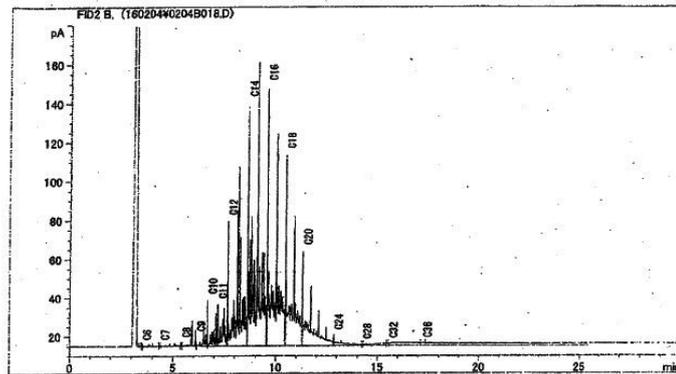


(3)灯油

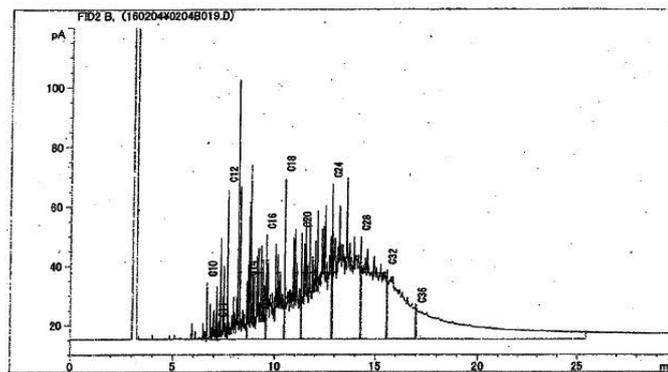


(4)軽油

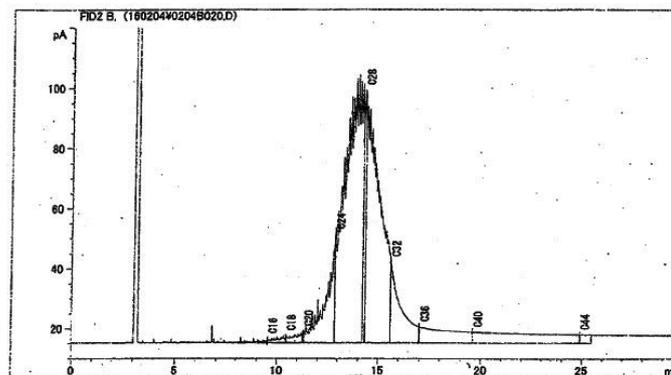
図 8. 2. 4(1) K37-4 地下水と代表的な石油製品の TPH パターン (クロマトグラム) (1)



(1)A 重油



(2)C 重油



(3)エンジンオイル

図 8. 2. 4 (2) K37-4 地下水と代表的な石油製品の TPH パターン (クロマトグラム) (2)

### 8.2.3 再調査時に実施した検証試験の結果

再調査に合わせ、揮発性物質であるベンゼンに対するパージ終了から採水までの時間の違いによる影響、及び地下水試料の分析室持込み後の保管期間の違いによる影響について、検証試験を行った。

#### (1) パージ終了から採水までの時間の違いによる影響について

3箇所の観測井（M37-3、B10-5、D11-5）を対象に、パージ作業終了から採水までの時間の違いがベンゼンの地下水質分析結果に与える影響を確認した。

表 8.2.5 及び図 8.2.5 に、パージ後の採水までの復水・静置時間の違いによる影響についての試験結果を示す。

試験結果から評価されることは次のとおりである。

- ① パージ前とパージ後 1 時間で濃度が大きく変化した地点（B10-5）があり、パージ中の水を分析に用いることは適切ではないことがわかる。
- ② パージ終了の 1 時間後に採水したときと 24 時間後又は 48 時間後に採水したときを比較すると、採水までの静置時間が長いからといってベンゼン濃度が低下するわけではないことが把握された。パージ後 1 時間、24 時間、48 時間の 3 つの試料の分析結果における変動係数（CV 値）は M37-3 が 35%、B10-5 が 10%、D11-5 が 5%であった（M37-3 の変動係数が大きいのは濃度の有効数字が 1 桁であるためであり、濃度値自体はほとんど変わらない）。
- ③ 上記②より、当日採水と翌日採水の違いにより分析結果（地下水中ベンゼン濃度）に大きな違いが生じることはないと考えられる。

#### (2) 地下水試料の分析室持込み後の保管期間の違いによる影響について

再調査（2 回目）に観測井戸（Q37-5）で採水した地下水試料について、分析室持込み後の地下水試料の冷蔵保管期間の違いが揮発性物質であるベンゼンの地下水質分析結果に与える影響を確認した。

表 8.2.6 及び図 8.2.6 に、地下水試料の分析室での冷蔵保管期間の違いによる影響についての試験結果を示す。持込み当日、持込み 1 日後、2 日後、3 日後の 4 回の分析値の変動係数（CV 値）は 8.5%と小さく、分析室へ搬入後の冷蔵保存した日数によるベンゼンの分析結果への影響は無視できると考えられる。

表 8.2.5 パージ後の採水までの復水・静置時間の違いによる影響についての検証試験結果

地点	地下水中ベンゼン濃度 (mg/L)			
	パージ前	パージ後 1時間	パージ後 25時間	パージ後 49時間
M37-3	0.001	0.002	0.001	0.001
B10-5	<0.001	0.18	0.16	0.14
D11-5	0.35	0.31	0.30	0.34

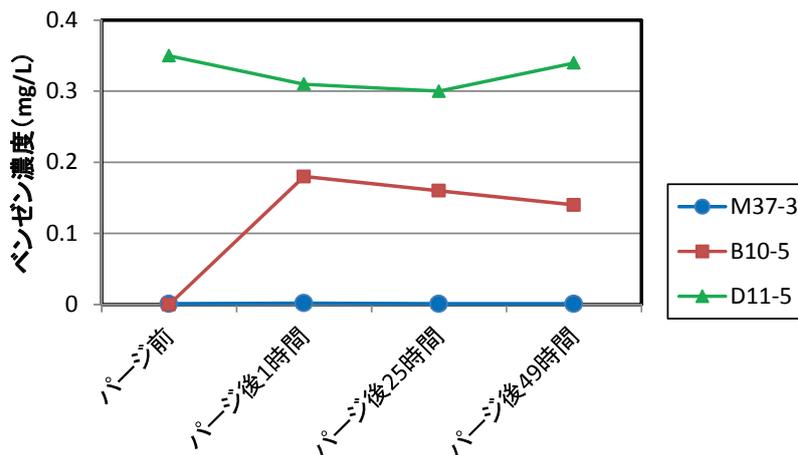


図 8.2.5 パージ後の採水までの復水・静置時間の違いによる影響についての検証試験結果

表 8.2.6 地下水試料の分析室での冷蔵保存期間の違いによる影響についての試験結果

地点	地下水中ベンゼン濃度 (mg/L)			
	当日	1日後	2日後	3日後
Q37-5	0.026	0.022	0.026	0.028

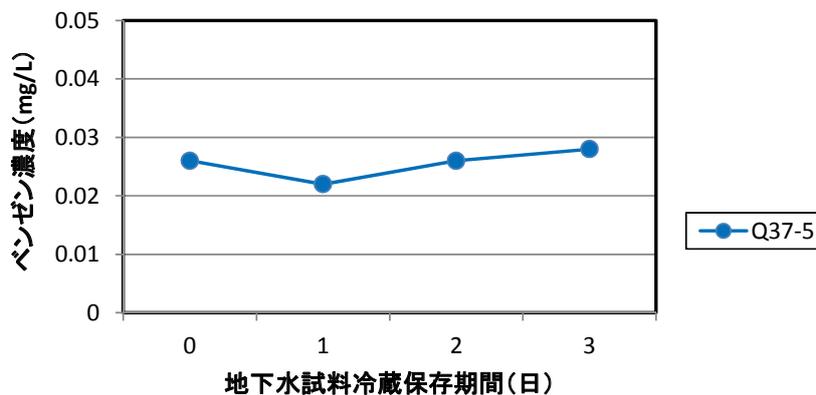


図 8.2.6 地下水試料の分析室での冷蔵保存期間の違いによる影響についての試験結果